

第2期計画(がん医療関係)の評価指標と患者意識調査との関係

(参考) ○・・・既存調査で測定可能 ★・・・今回調査で関連情報を収集 ▲・・・今後の検討課題

分野	施策の柱	評価指標				目指す姿	
		ストラクチャー(資源)	プロセス(過程)	アウトカム(成果)	最終アウトカム(成果)		
がん医療の提供	がん診療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新県立奈良病院の整備 ・南和の救急病院(急性期)の整備 ・がん診療連携拠点病院等におけるチーム医療の整備状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 悪性腫瘍手術の実施件数 ○ 放射線治療(体外照射)の実施件数 ▲ 外来化学療法の実施件数 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内がん診療連携拠点病院の県民治療カバー率 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年生存率 	<p>○がん患者が、県内の医療機関で、より質の高いがん医療を受けることができます。</p> <p>○上記の目標を達成するため、手術療法・放射線療法・化学療法とのさらなる充実とそれを実践できる効果的なチーム医療体制の整備が進んでいます。</p>	
	がん診療情報の提供の推進			<ul style="list-style-type: none"> 【患者やその家族の満足度】 ・医師による診療・治療内容に満足している人の割合 ・医師との対話に満足している人の割合 ・診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に伝えられた人の割合 ・病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分ではないと答えた人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ★問3 ★問4 ★問26 		
緩和ケア	患者やその家族のニーズの把握		<ul style="list-style-type: none"> ▲ がん患者・家族の満足度等の評価方法の検討結果の公表 			<p>○全てのがん患者とその家族が、居住する地域にかかわらず、必要な時に質の担保された切れ目のない緩和ケアを受けることができます。</p> <p>○上記の目標を達成するため、患者やその家族ががんと診断された時から緩和ケアを受けることのできる体制の整備が進んでいます。</p>	
	緩和ケア提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了者数 ○ 在宅緩和ケア研修受講者数 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和ケア外来の受診患者数 ○ 緩和ケアチームに対する新規診療症例数 ○ 医療用麻薬の消費量 	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者の在宅死亡割合 	<ul style="list-style-type: none"> 【患者やその家族の満足度】 ・痛みなどからだの症状をやわらげる対応に満足した人の増加 ・精神的なケアに満足している人の割合 		<ul style="list-style-type: none"> ★問1 ★問1
	県民への緩和ケアの普及啓発及び情報提供の推進		<ul style="list-style-type: none"> ○ 県ホームページへのアクセス数 	<ul style="list-style-type: none"> 【緩和ケアについての認知度】 ・緩和ケアについて知っている人の割合 ・緩和ケアはがんと診断されたときから受けるものだと思っている人の割合 ・在宅緩和ケアについて知っている人の割合 ・緩和ケアについての情報が不十分ではないと答えた人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ★問13 ★問14 ★問20 ★問26 		<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されたと答えた人の割合 ・症状は改善したと答えた人の割合 ・在宅緩和ケアについて希望し、実現可能だと思ふ人の割合
地域連携	患者やその家族のニーズの把握		<ul style="list-style-type: none"> ▲ がん患者・家族の満足度等の評価方法の検討結果の公表 			<p>○がん患者とその家族が、地域での生活を維持しながら、診断、治療、さらに在宅、看取りまで切れ目のない地域連携による質の高いがん医療を受けることができます。</p> <p>○上記の目標を達成するため、がん診療に関する地域連携体制の整備が進んでいます。</p>	
	地域連携体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者情報共有のための連携ツールの作成 ○ 5大がん以外の「私のカルテ」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「がん地域連携指導料」施設基準の届出施設数 ○ 地域連携クリティカルパスを適応した患者の延べ数 		<ul style="list-style-type: none"> 【患者やその家族の満足度】 ・在宅緩和ケアについて希望し、実現可能だと思ふ人の割合 		<ul style="list-style-type: none"> ★問21
相談支援・情報提供	患者やその家族のニーズの把握		<ul style="list-style-type: none"> ▲ がん患者・家族の満足度等の評価方法の検討結果の公表 			<p>○全てのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を手に入れることができ、その悩みや疑問が軽減しています。</p> <p>○上記の目標を達成するため、がん患者やその家族が活用しやすい相談支援体制の整備が進んでいます。</p>	
	相談支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国立がん研究センター研修を受けた相談員の割合 ○ 県内医療機関の相談窓口体制の整備状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談支援センターの認知度 ○ 相談支援センターの利用者数 ○ 相談支援センターへの他施設からの利用者数の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談支援センターにおける利用者の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> 【患者やその家族の満足度】 ・相談窓口、情報アクセス手段がある人の割合 ・がん関連情報についての情報が不十分ではないと答えた人の割合 		<ul style="list-style-type: none"> ★問25 ★問26
	ピア・サポート活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんピア・サポーター数 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者サロンの認知度 ○ 患者サロンの利用者数 		<ul style="list-style-type: none"> ・家族ケア(満足度) 		<ul style="list-style-type: none"> ▲
	県民への情報提供の推進		<ul style="list-style-type: none"> ○ 県ホームページへのアクセス数 	<ul style="list-style-type: none"> 【がん情報についての認知度】 ・がん治療方法等についての情報が不十分ではないと答えた人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ★問26 		
がん患者の就労	患者やその家族のニーズの把握		<ul style="list-style-type: none"> ▲ がん患者・家族の満足度等の評価方法の検討結果の公表 			<p>○がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができます。</p> <p>○上記の目標を達成するため、事業者において、がんやがん患者に対する理解が進んでいます。</p>	
	相談支援・情報提供の推進		<ul style="list-style-type: none"> ★問38 就労と治療に関する支援体制についての検討結果の公表 		<ul style="list-style-type: none"> 【患者やその家族の満足度】 ・がん治療を受けながら働き続けられる環境だと思ふ人の割合 		<ul style="list-style-type: none"> ★問33
	事業者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援体制のある事業所の割合 		<ul style="list-style-type: none"> ★問37 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 		<ul style="list-style-type: none"> ★問36